

# 令和4年度 行財政改革の取り組み状況



市では、質の高い行財政運営を目指し、令和3年度から令和7年度までを期間とする「戸田市第7次行財政改革大綱」の中で行財政改革に取り組んでいます。行財政改革の取り組み状況およびその一例を紹介します。

問い合わせ 共創企画課（内線413）

## 行財政改革の3つの柱

持続可能な行財政運営の推進

デジタル化による利便性の高い市民サービスの実現

多様な主体と連携した未来共創のまちづくり



### 財政効果

令和4年度の取り組みにより、

**5億3,761万4千円**

の財政効果を得ました。

### 取り組み例

- 自転車通行空間整備における交付金の獲得  
……1,210万円 
- 情報システム調達手法の最適化  
……3億7,965万1千円（推計値） 

### 財政効果以外の効果

#### ● 民間活力を活用した駅前のにぎわい創出

駅前のにぎわい創出のため、戸田駅西口駅前広場へ民間活力を導入したキッチンカーを出店し、約1万400人が訪れました。またサークル活動発表や市内フィットネスクラブによる体験型プログラムの実施など、さまざまなイベントにより、駅前のにぎわいを創出することができました。



#### ● 民間活力を活用したフードドライブの実施

家庭で余っている食べ物や賞味期限が近づいた食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体などに寄附する活動を包括連携協定事業者とともに実施しました。



2023年度  
全国統一防火標語  
火を消して  
不安を消して  
つなぐ未来

## 毎年11月9日～15日は 秋季全国火災予防運動期間です

空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季を迎えます。火災予防に対する理解を深め、火災発生防止のために、自分たちがすべきことを考えてみましょう。

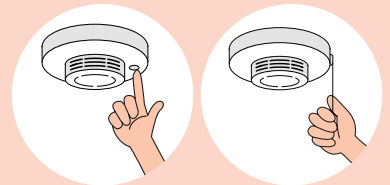
問い合わせ 消防本部予防課 420-2125

## 11月9日は「住宅用火災警報器点検の日」です

住宅用火災警報器設置の義務化から10年以上が経過し、当初設置された多くの住宅用火災警報器が使用期限を迎えています。「11月9日は点検実施で安全安心いいく(119)らし」をスローガンに掲げ、大切な命を守るために毎年11月9日に点検を行い、10年を経過していれば取り換えます。

### 住宅用火災警報器の点検方法

警報器本体のボタンを押すか、付属のひもを引っ張ってください。



- 正常な場合………正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。
- ✕ 反応がない場合………電池切れや故障の可能性があります。すぐに交換しましょう。



詳しくはこちら

### 住宅用火災警報器点検調査アンケート結果

令和5年6月1日集計  
市内一戸建て住宅居住者100世帯対象

Q. 最近、半年間に住宅用火災警報器の作動確認を行いましたか？

未実施 59.0%

令和5年度  
住宅用火災警報器  
設置率

全国平均 84.3%  
埼玉県平均 80.6%  
戸田市 83.0%

昨年、住宅用火災警報器を点検する写真を募集したところ、たくさんの方から応募がありました！写真は住宅用火災警報器の維持管理の啓発に活用しています。皆さんもこの機会に点検を行い、大切な家族の命を守りましょう。

